



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 東洋紡績株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3101 URL <http://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂元 龍三

問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長 (氏名) 浅井 治夫

TEL 06-6348-3044

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	258,832	3.7	14,216	△4.5	12,283	△1.5	5,212	856.9
23年3月期第3四半期	249,561	7.5	14,887	155.9	12,473	352.5	545	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,807百万円 (282.7%) 23年3月期第3四半期 2,040百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.88	5.87
23年3月期第3四半期	0.73	0.73

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	434,931	146,709	29.8
23年3月期	443,516	149,773	28.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 129,453百万円 23年3月期 125,770百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	2.8	20,000	△4.3	17,000	△0.3	6,500	56.4	7.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	890,487,922 株	23年3月期	890,487,922 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,819,234 株	23年3月期	3,833,088 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	886,649,872 株	23年3月期3Q	746,677,467 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱からは落ち着きを取り戻しましたが、タイ洪水の影響や歴史的な円高水準による競争力の低下などにより、依然として厳しい状況にあります。世界経済においては、中国をはじめとするアジア諸国では、内需は堅調に拡大しているものの、金融政策による調整や欧米向け輸出の減速などにより、成長鈍化の懸念が強まりました。また、欧州における長引く財政・金融危機問題により、景気の先行き不透明感も増しております。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ライフサイエンス、高機能で、新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」を目指し、環境分野ではVOC処理装置の海外展開を進め、ライフサイエンス分野では新タイプの医用膜や、手術による患者の身体的負担を和らげる効果のある抗血栓性コーティング材料などの新製品の開発、拡販に注力しました。高機能分野では、セラミックコンデンサー工程用フィルムなどの新製品の販売に努めるとともに、12月には同フィルムのコーティング設備や、主に自動車用バンパーの下塗り塗料に使用される塩素化ポリプロピレン“ハードレン”の能力増強を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は前年同期比93億円（3.7%）増の2,588億円となり、営業利益は同7億円（4.5%）減の142億円、経常利益は同2億円（1.5%）減の123億円、四半期純利益は同47億円（856.9%）増の52億円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

#### (フィルム・機能樹脂事業)

当事業は、非液晶用フィルムなどの高機能製品の拡販に努めましたが、液晶分野の減産影響や、自動車分野でのユーザーの東日本大震災やタイ洪水の影響を受け、前年同期と比べ、増収、減益となりました。

フィルム事業では、食品包装用フィルムは第1、第2四半期では売上を伸ばしましたが、震災影響の落ちついた第3四半期ではユーザーの在庫調整がありました。工業用フィルムは、非液晶用途の拡販に努めましたが、第2四半期以降、液晶パネル関連において国内外のユーザーの生産調整の影響を強く受けました。

機能樹脂事業では、工業用接着剤“バイロン”は、第3四半期後半において、IT・電子部品用途の中国・韓国向けで生産調整の影響を受けましたが、一般的に需要は堅調に推移しました。エンジニアリングプラスチックは、主力の自動車関連の需要が回復したため、前年同期比では、ほぼ前年並みの売上を確保しました。アクリル系樹脂は吸水性などの機能性微粒子が売上を伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比68億円（7.1%）増の1,025億円となり、営業利益は同18億円（18.2%）減の81億円となりました。

#### (産業マテリアル事業)

当事業は、自動車分野ではユーザーの東日本大震災およびタイ洪水の影響を受けましたが、環境関連分野が堅調に推移したことから、前年同期と比べ、減収、増益となりました。

エアバッグ用基布は、第2四半期から数量が回復しました。タイヤコードは、国内向けは順調でしたが、タイの洪水および為替の影響を受けました。スーパー繊維は、一部用途で震災の影響もありましたが、数量は堅調に推移しました。フィルター事業では、空調用などは堅調に推移しましたが、VOC処理装置は顧客の投資案件の順延などの影響を受けました。スパンボンドは、震災影響などで土木、建築用途の出荷が停滞したことから苦戦が続きました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比3億円（0.6%）減の514億円、営業利益は同2億円（6.8%）増の34億円となりました。

#### (ライフサイエンス事業)

当事業は、バイオ事業、メディカル事業、機能膜事業とも堅調に推移しましたが、為替影響などもあり、前年同期に比べ、増収、減益となりました。

バイオ事業では、輸出を中心に主力製品である診断薬用酵素で売上を伸ばしましたが、為替の影響を受けました。メディカル事業においては、医薬品製造受託が引き続き堅調に推移しました。また、新たに手術による患者の身体的負担を和らげる効果のある抗血栓性コーティング材料を開発し、拡販に努めました。機能膜事業においては、医用膜は、国内向けを中心に堅調に推移しました。アクア膜は、国内外の既存プラントの交換膜受注が好調に推移しましたが、為替の影響を受けました。ファインケミカル事業では、合成薬中間体の苦戦が続きました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比1億円（0.3%）増の220億円、営業利益は同1億円（3.4%）減の23億円となりました。

## （衣料繊維事業）

当事業は、前年同期に比べ、増収、増益となりました。

アパレル製品事業は、スポーツアパレル向けは売上を伸ばしましたが、百貨店向け製品は苦戦しました。インナー事業は、機能素材を中心に順調に数量を拡大しました。テキスタイル事業では、ユニフォームは順調に売上を伸ばしましたが、中東向けの特化生地では、販売数量を伸ばしたものの円高の影響を受け苦戦しました。アクリル繊維“エクスラン”は、国内外での特化素材の需要が旺盛で、数量は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比13億円（2.1%）増の638億円となり、営業利益は同8億円増の8億円（前年同期は営業損失0億円）となりました。

## （不動産事業・その他事業）

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービスなどのインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比14億円（7.6%）増の191億円となり、営業利益は同2億円（13.6%）増の18億円となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比86億円（1.9%）減の4,349億円となりました。これは、主として、現金及び預金が減少したことなどによります。

負債は、前年度末比55億円（1.9%）減の2,882億円となりました。これは、主として、固定負債のその他が減少したことなどによります。

純資産は、利益剰余金が増加しましたが、少数株主持分が減少したことなどにより、前年度末比31億円（2.0%）減の1,467億円となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期においては、欧州の財政・金融危機に端を発した景気後退影響の広がりに加え、タイで発生した大規模洪水によるサプライチェーンへの悪影響、歴史的な円高水準の継続などが当社グループの業績を圧迫しました。また、法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴い、繰延税金資産等を取り崩し、法人税等調整額が増加しております。

このような状況の中、第4四半期においては、フィルム・機能樹脂事業などでの一時的なユーザーの生産・在庫調整も収束し、回復傾向にありますが、欧州の財政・金融危機の長期化やアジア諸国の成長鈍化懸念など景気の先行きに不透明感があることから、平成24年3月期通期の連結業績について、下記のとおり修正いたします。

平成24年3月期通期

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	355,000	22,000	19,000	9,000
今回修正予想（B）	350,000	20,000	17,000	6,500
増減額（B－A）	△5,000	△2,000	△2,000	△2,500
増減率（%）	△1.4	△9.1	△10.5	△27.8

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,014	9,914
受取手形及び売掛金	72,647	67,111
商品及び製品	38,794	50,554
仕掛品	13,803	15,935
原材料及び貯蔵品	13,391	15,724
その他	11,668	11,260
貸倒引当金	△316	△214
流動資産合計	172,001	170,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,510	46,826
機械装置及び運搬具（純額）	37,026	35,407
土地	106,949	106,746
その他（純額）	12,267	12,026
有形固定資産合計	203,751	201,005
無形固定資産	1,872	1,662
投資その他の資産		
その他	67,341	63,420
貸倒引当金	△1,450	△1,439
投資その他の資産合計	65,892	61,980
固定資産合計	271,515	264,648
資産合計	443,516	434,931

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,068	50,553
短期借入金	49,870	52,900
1年内返済予定の長期借入金	26,990	23,883
引当金	4,276	2,108
その他	33,239	32,961
流動負債合計	163,444	162,405
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	52,990	54,101
退職給付引当金	15,867	17,031
役員退職慰労引当金	435	408
環境対策引当金	1,085	1,029
その他	44,923	38,249
固定負債合計	130,299	125,817
負債合計	293,743	288,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,227	32,227
利益剰余金	15,481	17,594
自己株式	△562	△559
株主資本合計	98,876	100,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	△672
繰延ヘッジ損益	△159	△174
土地再評価差額金	38,132	41,491
為替換算調整勘定	△11,384	△12,183
その他の包括利益累計額合計	26,894	28,462
少数株主持分	24,003	17,256
純資産合計	149,773	146,709
負債純資産合計	443,516	434,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	249,561	258,832
売上原価	193,513	202,763
売上総利益	56,049	56,068
販売費及び一般管理費	41,162	41,853
営業利益	14,887	14,216
営業外収益		
負ののれん償却額	734	734
その他	2,504	2,604
営業外収益合計	3,239	3,339
営業外費用		
支払利息	1,975	1,557
退職給付会計基準変更時差異の処理額	1,181	1,179
その他	2,496	2,536
営業外費用合計	5,653	5,272
経常利益	12,473	12,283
特別利益		
固定資産売却益	139	133
有価証券売却益	—	53
その他	29	—
特別利益合計	168	186
特別損失		
訴訟関連損失	1,386	1,358
その他	6,811	781
特別損失合計	8,196	2,139
税金等調整前四半期純利益	4,445	10,330
法人税等	3,226	4,124
少数株主損益調整前四半期純利益	1,219	6,205
少数株主利益	675	993
四半期純利益	545	5,212



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,219	6,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,230	△1,018
繰延ヘッジ損益	△28	△15
土地再評価差額金	—	3,434
為替換算調整勘定	△333	△821
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	21
その他の包括利益合計	821	1,601
四半期包括利益	2,040	7,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,382	6,792
少数株主に係る四半期包括利益	658	1,015

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に対 する売上高	95,655	51,695	21,948	62,502	2,707	234,505	15,056	249,561	—	249,561
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	403	185	86	563	961	2,199	6,008	8,207	△8,207	—
計	96,058	51,880	22,034	63,064	3,668	236,704	21,064	257,768	△8,207	249,561
セグメント利益 又は損失 (△)	9,949	3,209	2,344	△5	1,228	16,726	381	17,107	△2,220	14,887

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△2,220百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,167百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に対 する売上高	102,494	51,394	22,004	63,823	2,851	242,566	16,265	258,832	—	258,832
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	155	50	28	893	944	2,070	7,902	9,972	△9,972	—
計	102,649	51,444	22,032	64,716	3,795	244,637	24,167	268,804	△9,972	258,832
セグメント利益	8,134	3,427	2,263	831	1,070	15,726	758	16,484	△2,268	14,216

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,268百万円には、セグメント間取引消去△67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,201百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。